

ローカルフォルダを共有化する

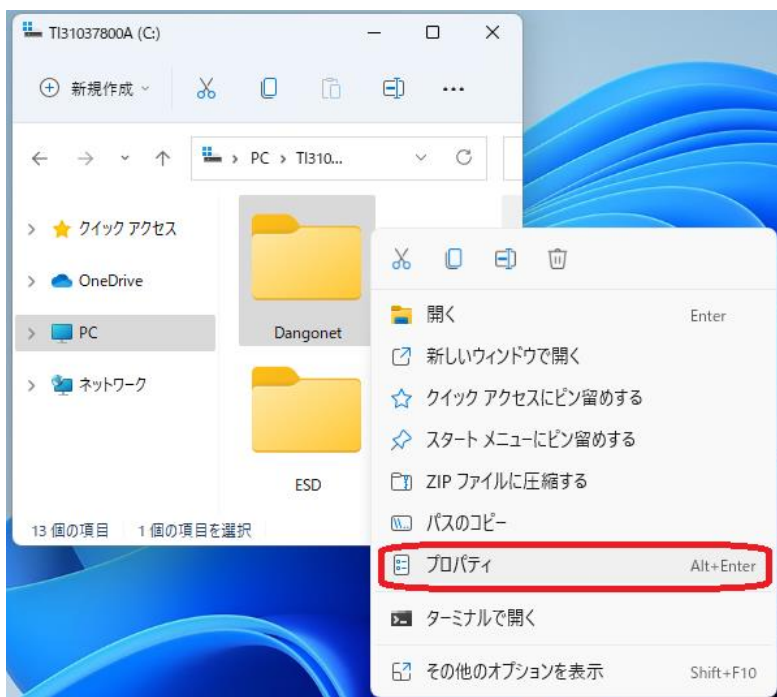
共有フォルダの設定方法をご紹介します。

目次

1.Windows 11 の場合	1
(1) [共有] タブの設定	2
(2) [セキュリティ] タブの設定	4
2.Windows 10 の場合	8
(1) [共有] タブの設定	8
(2) [セキュリティ] タブの設定	10
3.【共通】パスワード保護共有を「無効」の設定にする	14
4.【共通】フォルダの共有化を確認する	16

1.Windows 11 の場合

共有したいフォルダの上で右クリックし、「プロパティ」を選択します。

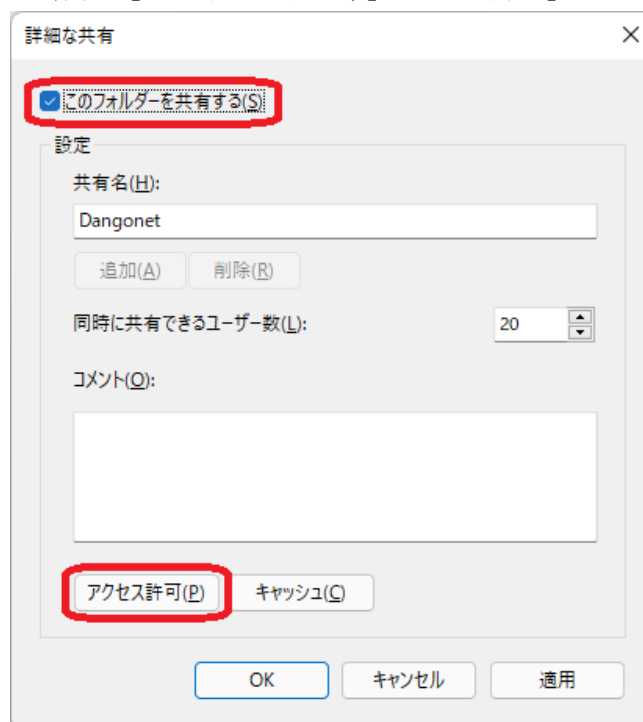


(1) [共有] タブの設定

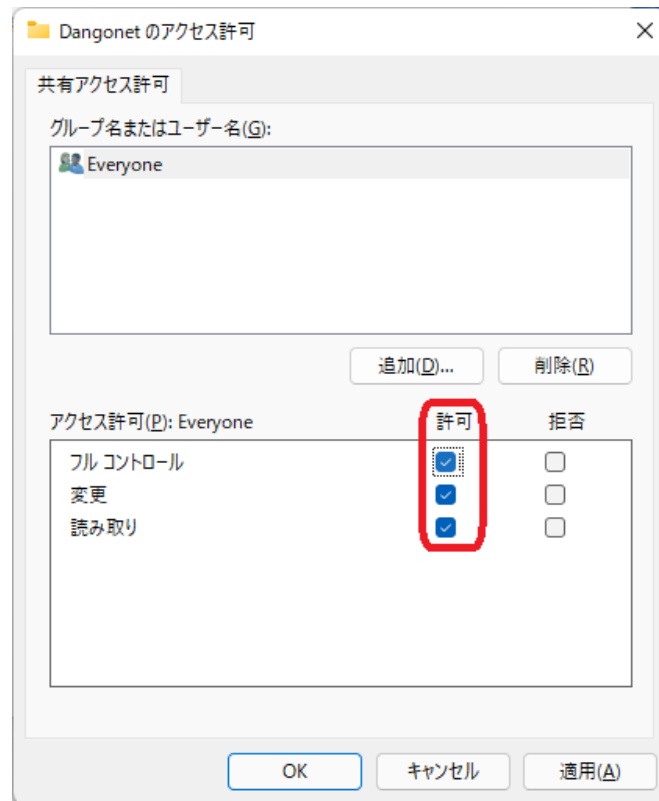
[共有] タブの [詳細な共有 (D) …] ボタンをクリックします。



[このフォルダを共有する] チェックを付け、[アクセス許可] ボタンをクリックします。

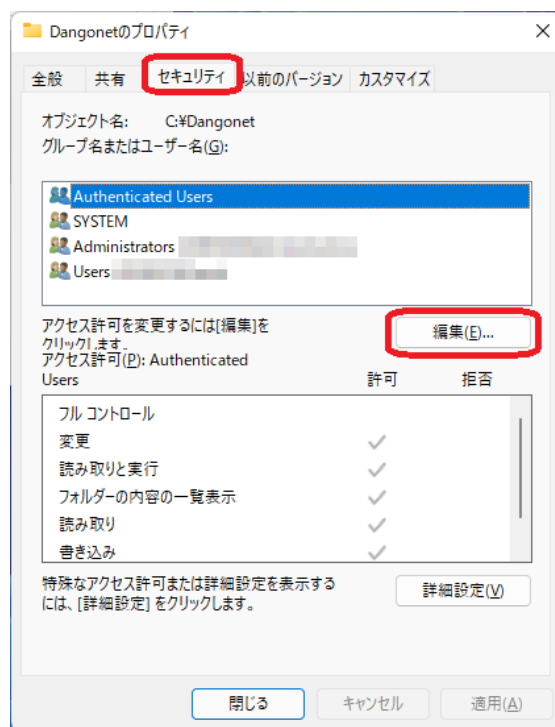


「グループ名またはユーザー名 (G):」の「Everyone」に、フルコントロールの「許可」チェックを付け、[OK] ボタンで画面を閉じます。

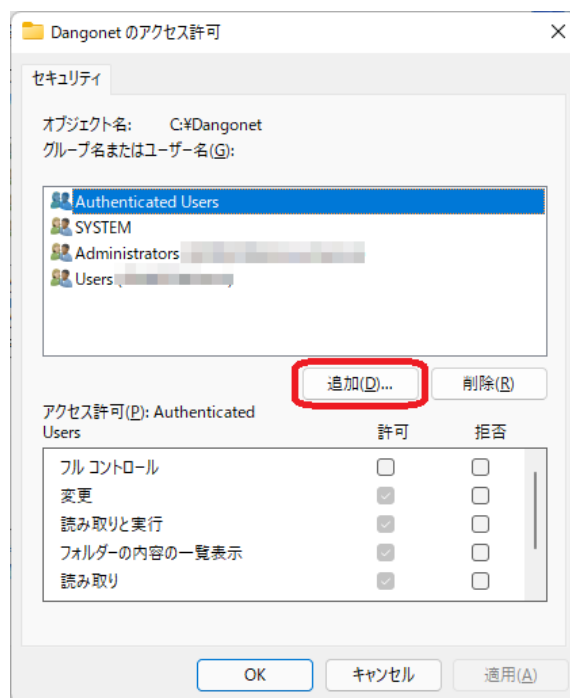


(2) [セキュリティ] タブの設定

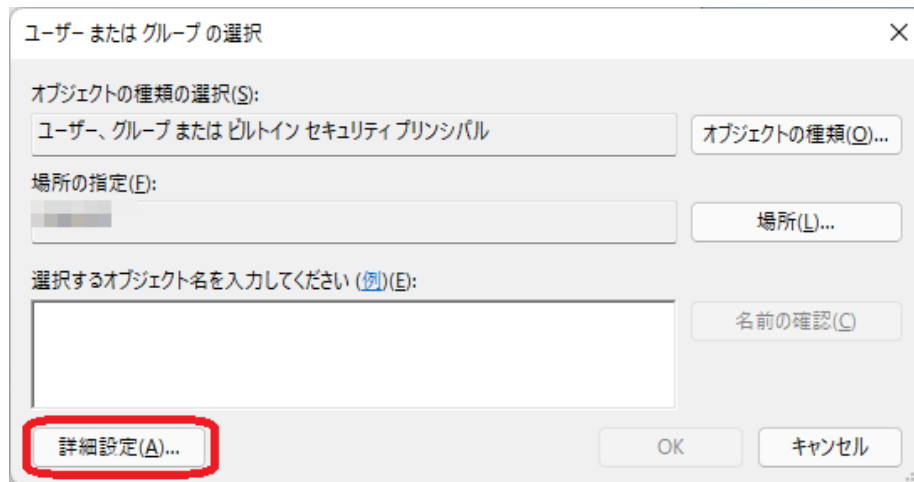
※ [共有] タブの [共有] ボタンがアクティブでない場合、こちらの設定が必要です。
[セキュリティ] タブの [編集] ボタンをクリックします。



「グループ名またはユーザー名 (G):」欄に「Everyone」がない場合、[追加] ボタンをクリックします。



[詳細設定 (A) ...] ボタンをクリックします。



ユーザー または グループ の選択

オブジェクトの種類の選択 (S):
ユーザー、グループ または ビルトイン セキュリティ プリンシパル

場所の指定 (E):

選択するオブジェクト名を入力してください (例) (E):

名前を確認 (C)

詳細設定 (A) ...

OK

キャンセル

[検索] ボタンをクリックします。



ユーザー または グループ の選択

オブジェクトの種類の選択 (S):
ユーザー、グループ または ビルトイン セキュリティ プリンシパル

場所の指定 (E):

共通クエリ

名前 (A): 次の文字で始まる

説明 (D): 次の文字で始まる

☐ 無効になっているアカウント (B)

☐ 無期限のパスワード (X)

前回ログオン時からの日数 (I):

列 (C) ...

検索 (N)

中止 (I)

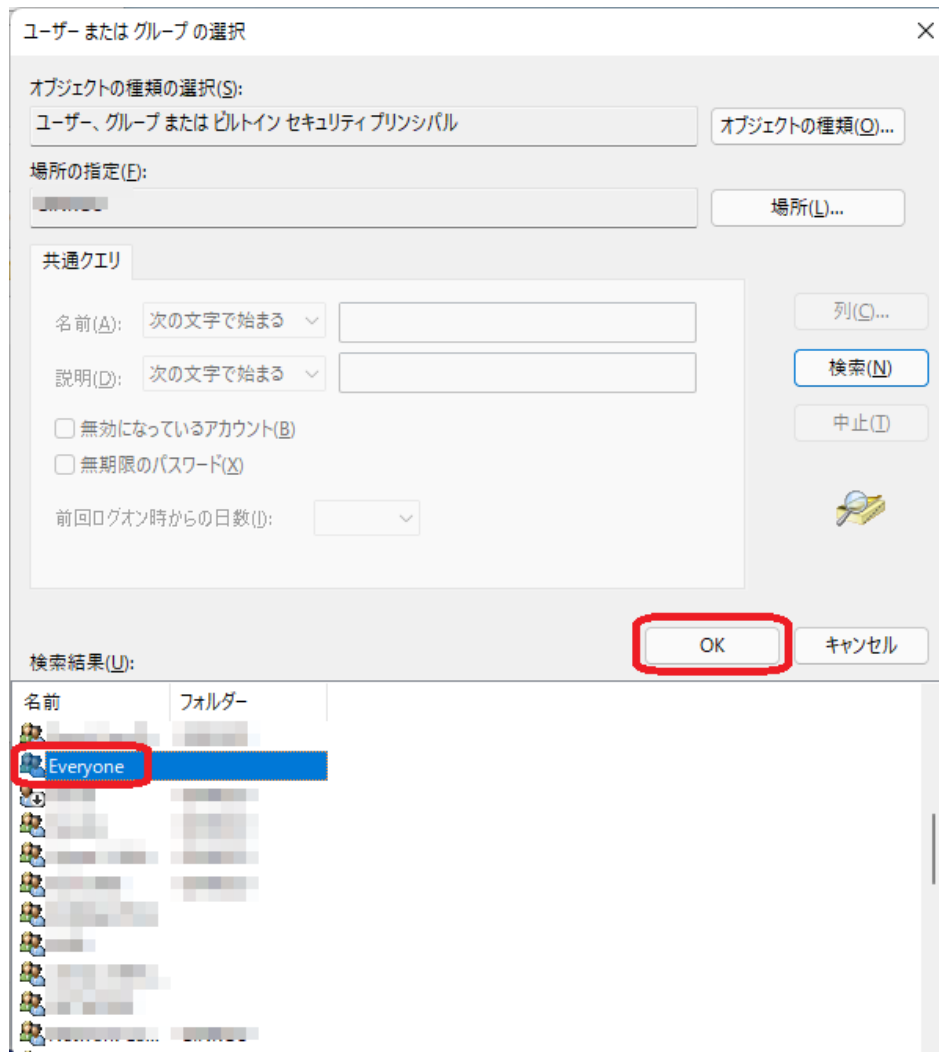
検索結果 (U):

名前	フォルダー
----	-------

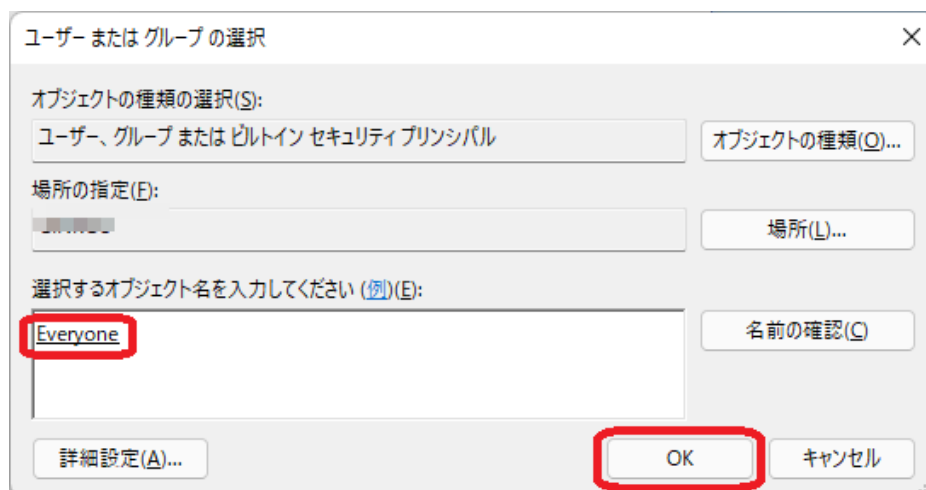
OK

キャンセル

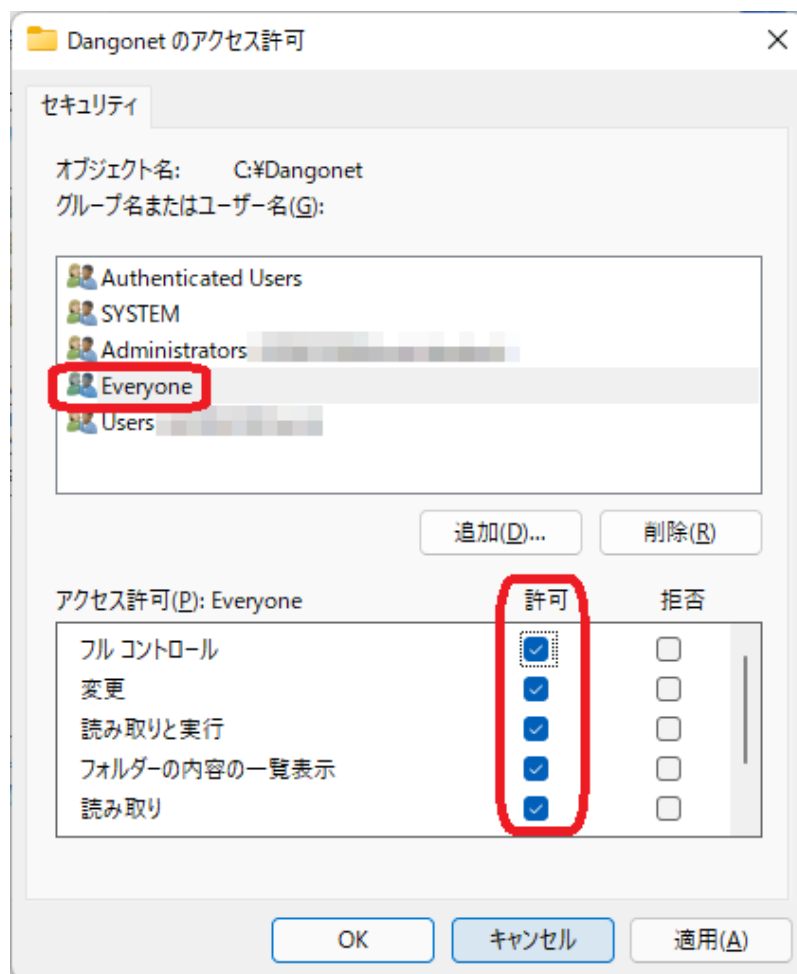
検索結果から「Everyone」を選択、[OK] ボタンをクリックします。



選択するオブジェクト名に「Everyone」が表示されたことを確認し、[OK] ボタンでウィンドウを閉じます。

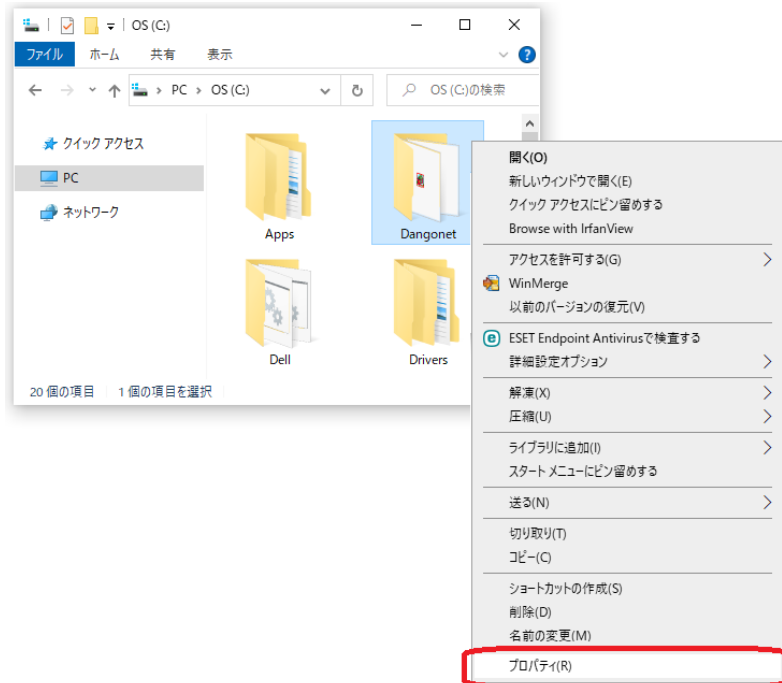


「グループ名またはユーザー名 (G):」欄の「Everyone」を選択し、フルコントロールの「許可」チェックを付け、[OK] ボタンで画面を閉じます。



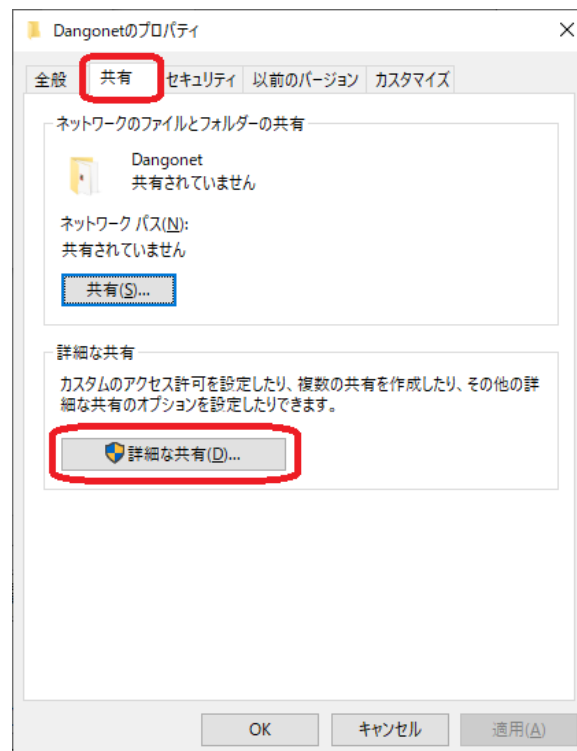
2. Windows 10 の場合

共有したいフォルダの上で右クリックし、「プロパティ」を選択します。

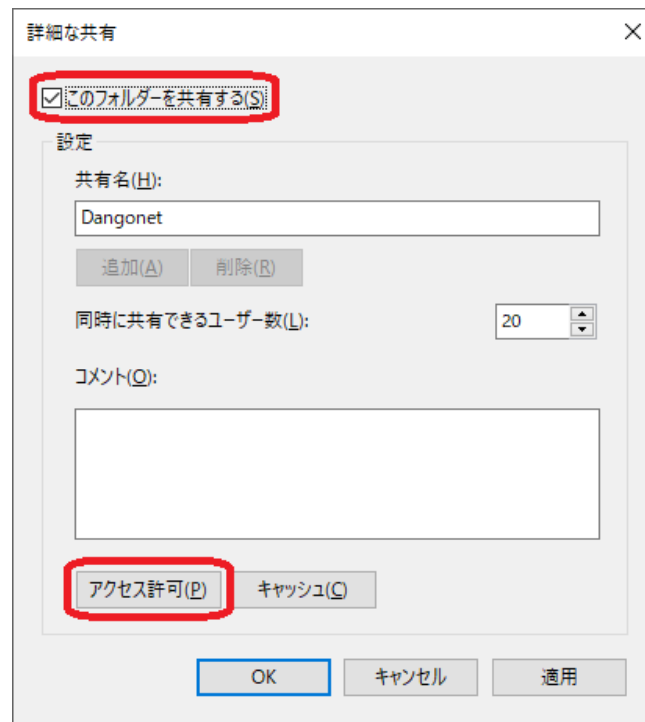


(1) [共有] タブの設定

[共有] タブの「詳細な共有 (D) ...」ボタンをクリックします。



[このフォルダを共有する] チェックを付け、[アクセス許可] ボタンをクリックします。

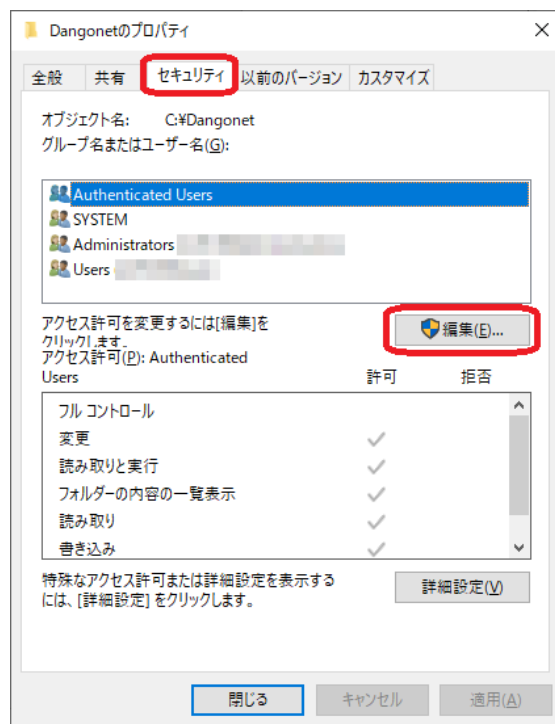


「グループ名またはユーザー名 (G) :」の「Everyone」に、フルコントロールの [許可] チェックを付け、[OK] ボタンで画面を閉じます。

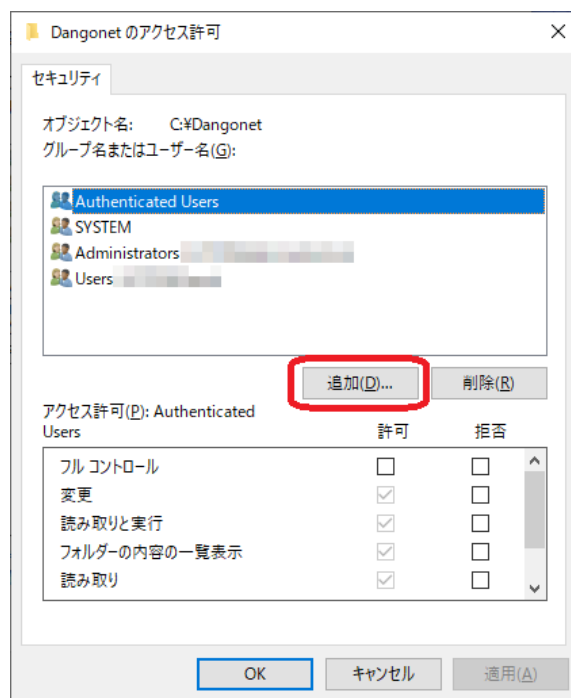


(2) [セキュリティ] タブの設定

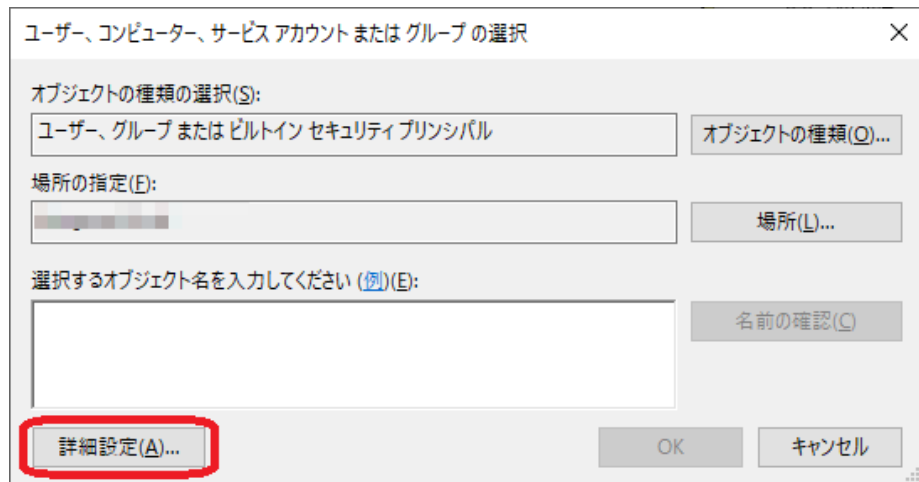
※ [共有] タブの [共有] ボタンがアクティブでない場合、こちらの設定が必要です。
[セキュリティ] タブの [編集] ボタンをクリックします。



「グループ名またはユーザー名 (G):」欄に「Everyone」がない場合、[追加] ボタンをクリックします。



[詳細設定 (A) ...] ボタンをクリックします。



ユーザー、コンピューター、サービスアカウントまたはグループの選択

オブジェクトの種類の選択(S):
ユーザー、グループまたはビルトインセキュリティプリンシパル

場所の指定(E):

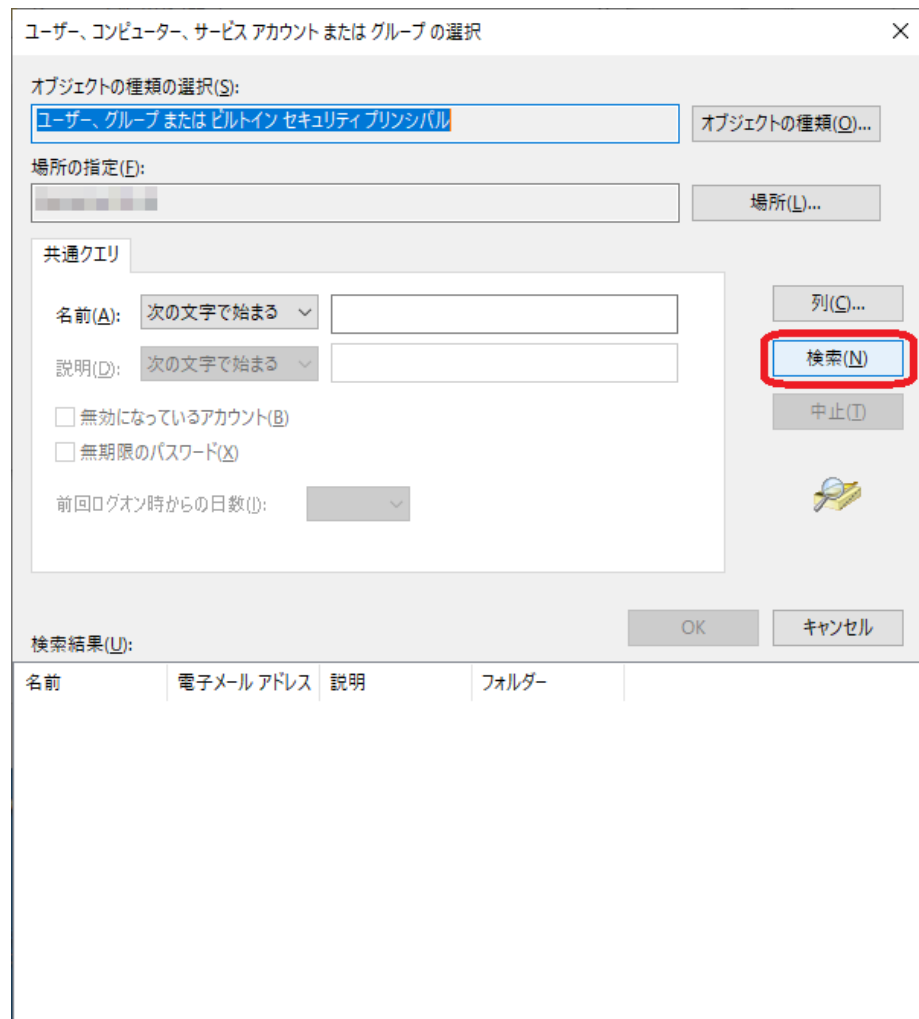
選択するオブジェクト名を入力してください (例)(E):

名前確認(C)

詳細設定(A)...

OK キャンセル

[検索] ボタンをクリックします。



ユーザー、コンピューター、サービスアカウントまたはグループの選択

オブジェクトの種類の選択(S):
ユーザー、グループまたはビルトインセキュリティプリンシパル

場所の指定(E):

共通クエリ

名前(A): 次の文字で始まる

説明(D): 次の文字で始まる

☐ 無効になっているアカウント(B)

☐ 無期限のパスワード(X)

前回ログオン時からの日数(I):

列(C)...

検索(N)

中止(I)

OK キャンセル

検索結果(U):

名前	電子メール アドレス	説明	フォルダー
----	------------	----	-------

検索結果から「Everyone」を選択、[OK] ボタンをクリックします。

ユーザー、コンピューター、サービス アカウントまたはグループの選択

オブジェクトの種類の選択(S):
ユーザー、グループまたはビルトイン セキュリティ プリンシパル

場所の指定(E):

共通クエリ

名前(A): 次の文字で始まる

説明(D): 次の文字で始まる

☐ 無効になっているアカウント(B)

☐ 無期限のパスワード(X)

前回ログオン時からの日数(I):

列(C)...

検索(N)

中止(I)

検索結果(U):

名前	電子メール アドレス	説明	フォルダー
...
Everyone			
...

OK

キャンセル

選択するオブジェクト名に「Everyone」が表示されたことを確認し、[OK] ボタンでウィンドウを閉じます。

ユーザー、コンピューター、サービス アカウントまたはグループの選択

オブジェクトの種類の選択(S):
ユーザー、グループまたはビルトイン セキュリティ プリンシパル

場所の指定(E):

選択するオブジェクト名を入力してください (例)(E):

Everyone

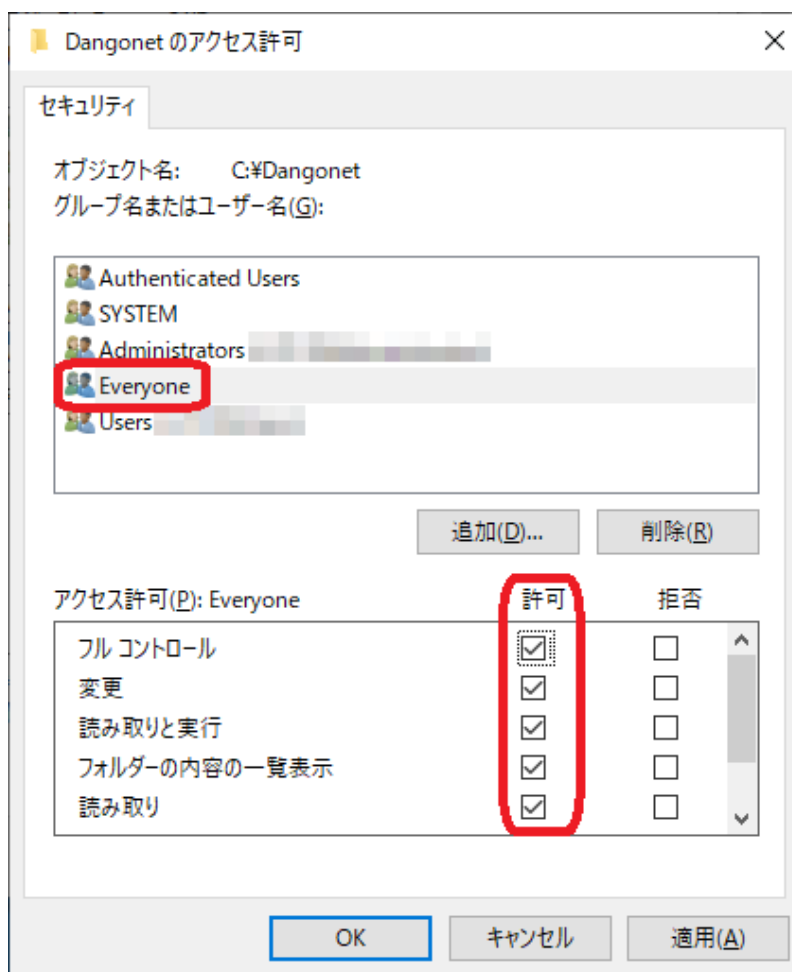
名前の確認(C)

詳細設定(A)...

OK

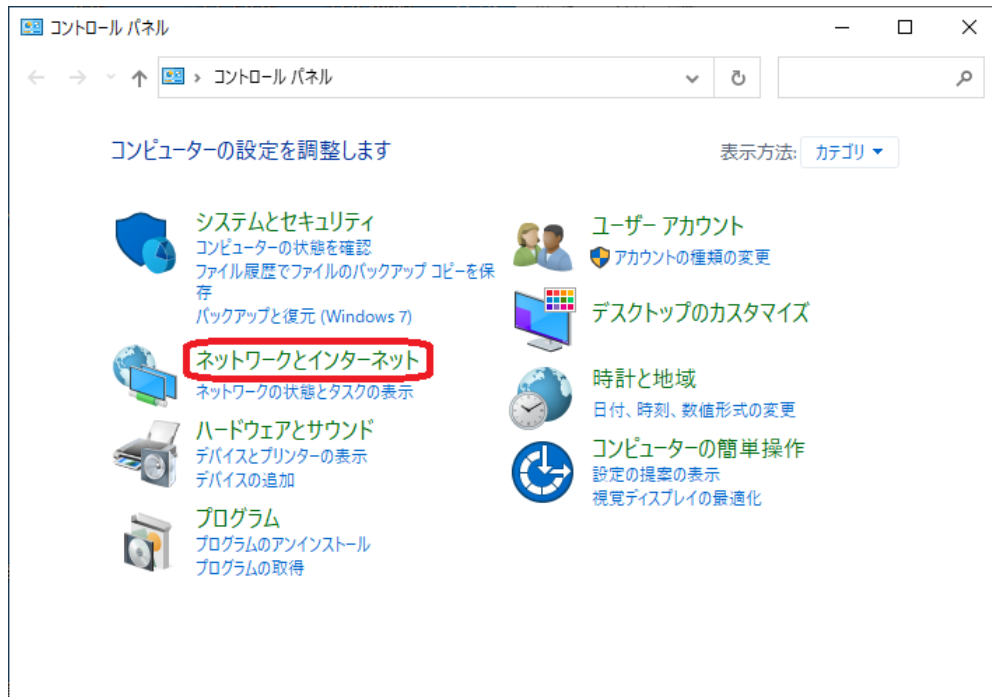
キャンセル

「グループ名またはユーザー名 (G):」欄の「Everyone」を選択し、フルコントロールの「許可」チェックを付け、[OK] ボタンで画面を閉じます。

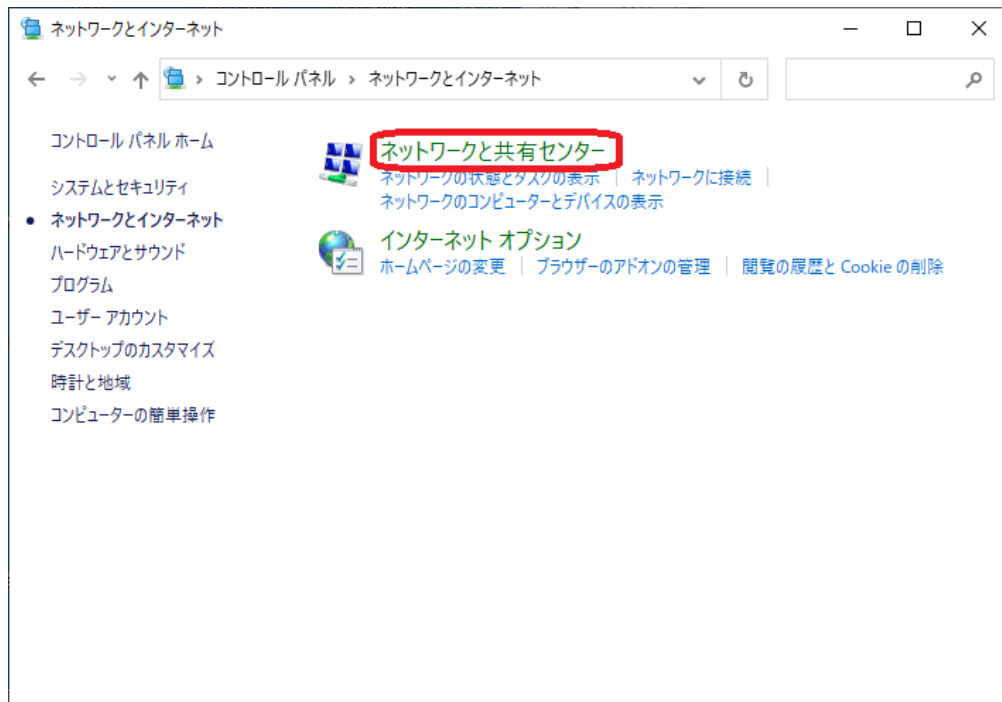


3. 【共通】 パスワード保護共有を「無効」の設定にする

コントロールパネルを起動し、「ネットワークとインターネット」をクリックします。



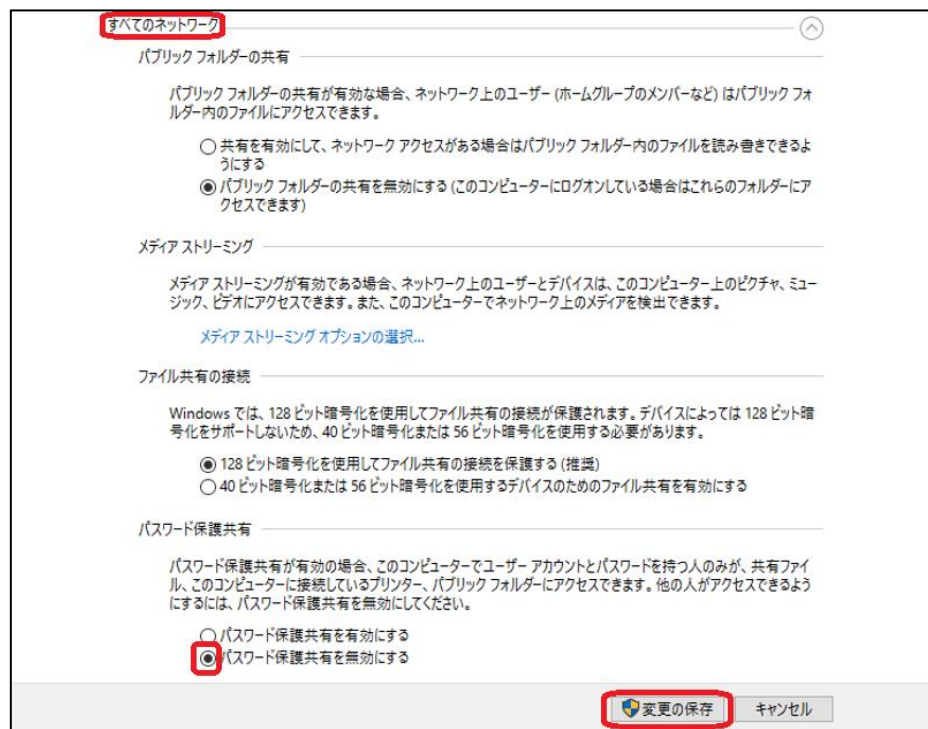
「ネットワークと共有センター」をクリックします。



「共有の詳細設定の変更」をクリックします。



パスワード保護共有の「パスワード保護の共有を無効にする」チェックを付け、[変更の保存] ボタンで画面を閉じます。

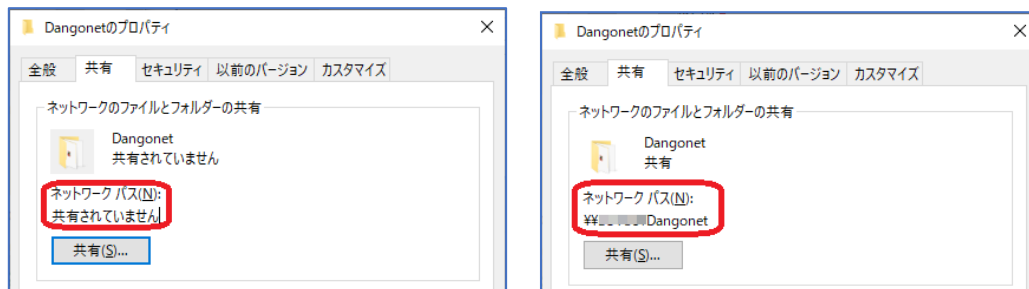


4. 【共通】 フォルダの共有化を確認する

①共有したフォルダの上で右クリック、「プロパティ」を選択し「共有」タブを確認します。

＜共有されていません＞

＜共有されています＞



②ネットワーク上から共有フォルダへアクセスし、フォルダが参照できるか確認します。

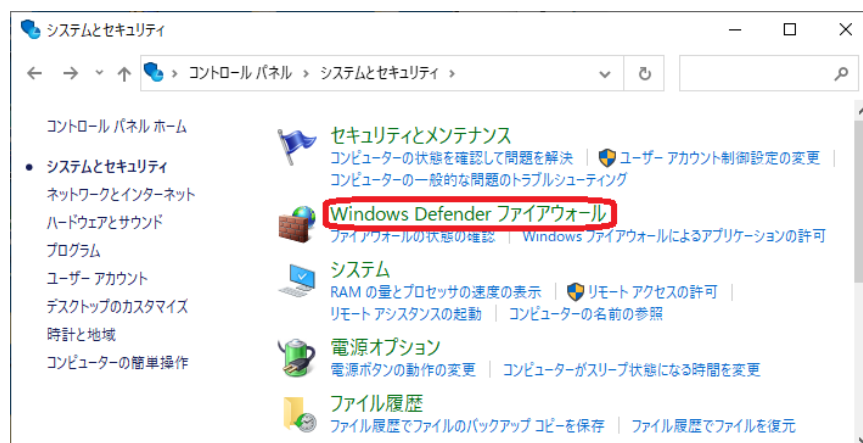
(A) Windows のログイン「ユーザー名」「パスワード」の入力を求めてくる場合

「[3.パスワード保護共有を「無効」の設定にする](#)」の設定が必要です。

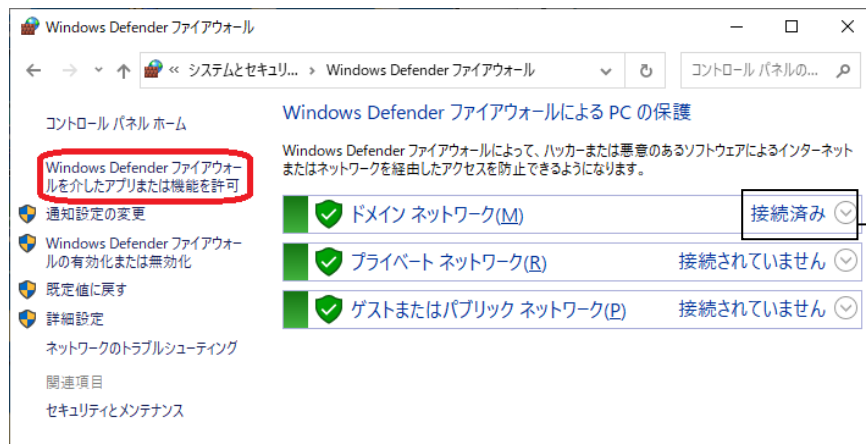


(B) 「ネットワークエラー」が表示された場合

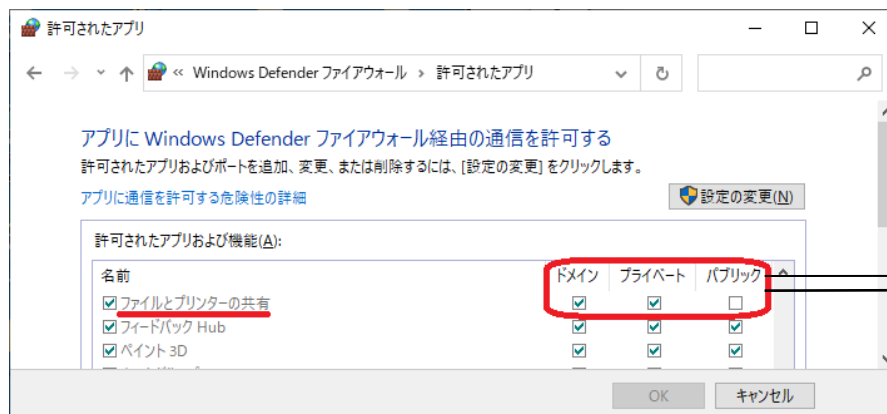
コントロールパネルの「システムとセキュリティ」をクリックし、「Windows Defender ファイアウォール」を選択します。



左サイドの「Windows Defender ファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可」をクリックします。



「許可されたアプリおよび機能 (A) :」欄の「ファイルとプリンターの共有」で、[ドメイン] [プライベート] [パブリック] チェックを付けます。



「接続済み」と表示されている
現在利用中のネットワークの種類に
チェックを付ける必要があります。